

「やきとり家すみれ」東海1号店

きょう名駅にオープン

豊田産業、5年後に20店へ

外食店などを手がける豊田産業(本社刈谷市、豊田貴久社長)は16日、居酒屋「やきとり家すみれ」の東海地区1号店を名古屋・名駅にオープンする。同店は関東で人気の居酒屋チェーンで、昨年にエリアフラン

チャイズ契約を結んだ。名駅エリアの駅前再開発が進む中、増加するオフィスワーカーらの宴会需要を取り込む。FC募集も行い、5年以内に東海3県(愛知、岐阜、三重)に20店出店する計画だ。



きょう名駅にオープンする「やきとり家すみれ」

東海1号店は、名古屋市中村区名駅3のサングレース内に開設する。店舗面積は約120平方メートル。席数は77。鳥取県の名峰・大山の水で育ったブランド鶏「大山どり」を使用した焼き鳥「名物王様レバー」(1本税別290円)を看板メニューに、とりレバーのカルパッチョ「大山どりレバッチョ」(590円)、「大

山どり砂肝とエリンギの「アヒージョ」(490円)など一品料理を充実させる。17日から昼営業も行う。想定客単価は昼900円、夜2900円。月間売上高目標は800万円。営業時間は昼の部が午前11時半から午後2時、夜の部が午後5時から午前零時まで。定休日なし。

1号店は駅前の都市部だが、ファミリー層の需要開拓もにらみ、郊外ロードサイドの出店も積極的に検討していく。